

2025年3月期（第78期）
決算説明資料

2025年6月24日

株式会社 **KVK**

6484





目次

- 1 会社概要
- 2 2025年3月期 決算概要
- 3 2025年3月期 振り返り
- 4 2026年3月期の取り組みおよび将来展望
- 5 資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について
- 6 参考資料



会社概要

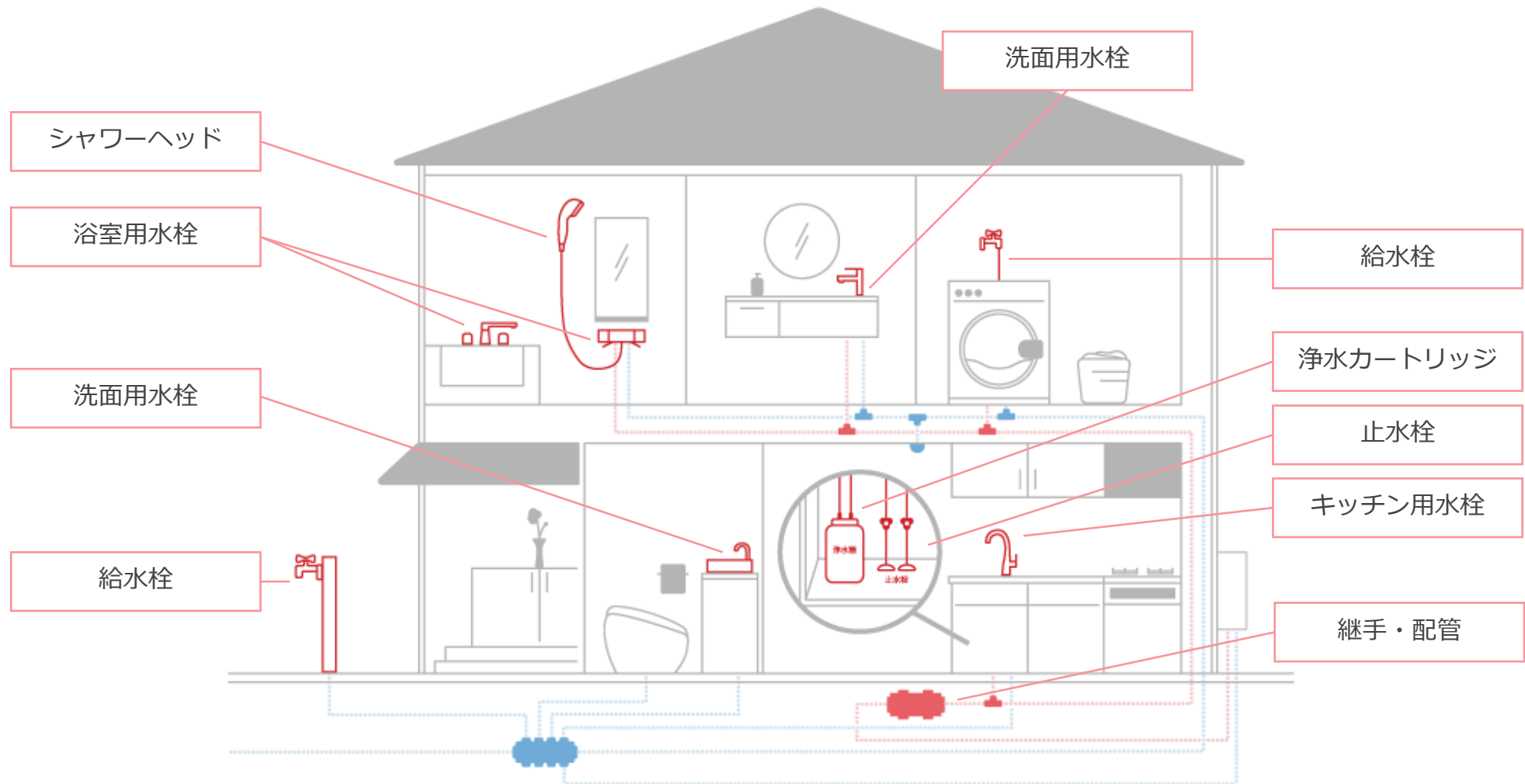
経営理念



会社情報

会社名	株式会社KVK
代表者名	代表取締役社長 末松 正幸
創業年月日	1939年2月5日
本社所在地	岐阜県加茂郡富加町高畑字稻荷641番地
グループ会社	大連北村閥門有限公司（中国） KVK PHILIPPINES,INC.（フィリピン）
資本金	2,854百万円
従業員数	1,189人 2025年3月31日現在
事業内容	水栓金具、継手、排水金具、水栓部品 製造・販売

"家一軒まるごと水まわり"をプロデュースする水栓金具専門メーカーです。



1939年
北村鋳造所創業

1949年
北村バルブ株式会社設立

1966年
初期の壁付混合栓発売

1989年
大連北村閥門有限公司(生産工場)設立
飛驒工場（給水栓組立）設置

1992年
「株式会社KVK」に商号変更

1993年
日本証券業協会に店頭登録

1994年
大連保税区北村国際工貿有限公司(販売会社)設立

2008年
株式会社喜多村合金製作所および
その関連会社の株式会社タツタマ、
有限会社ロイヤル興産から給排水金具・
継手事業の一部を譲受け

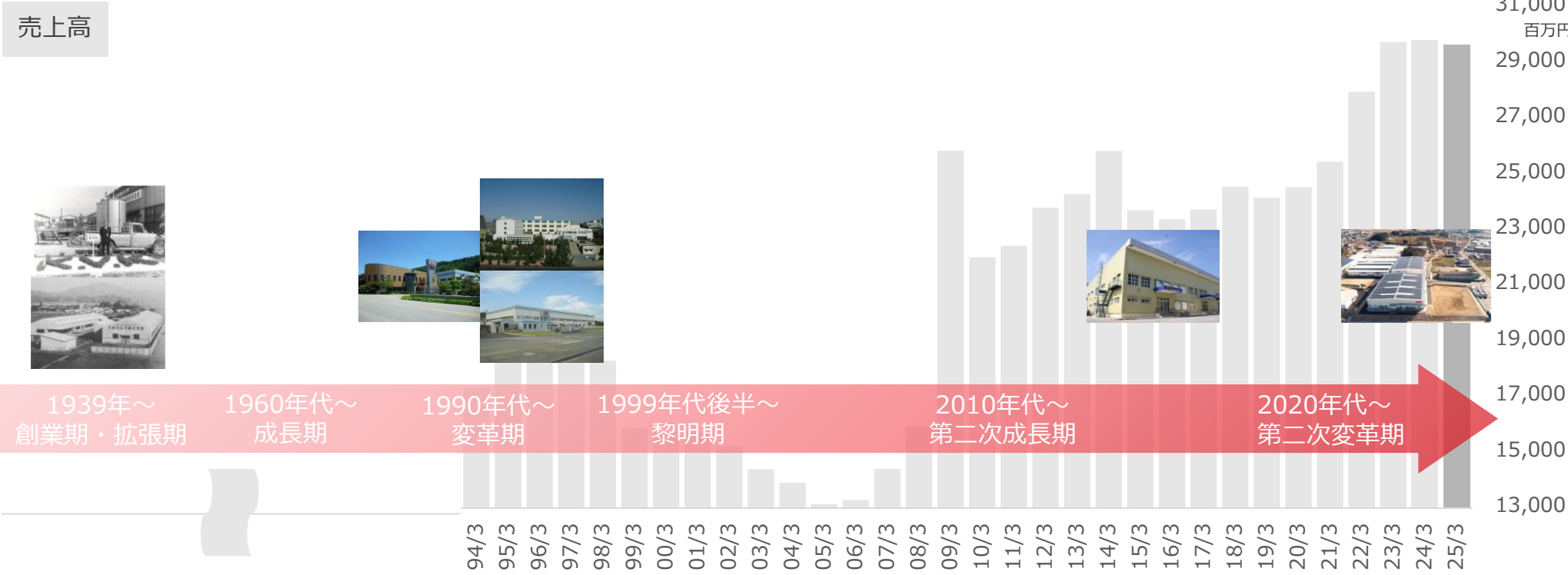
2014年
海外事業室を設置

2016年
KVK PHILIPPINES,INC.(生産工場)設立

2018年
登記上の商号及び本店所在地の変更
コーポレートロゴの変更

2021年
TVCM「ハーツイ！」篇を公開

2023年
新棟2棟完成
コージェネレーションシステム稼働
太陽光発電稼働

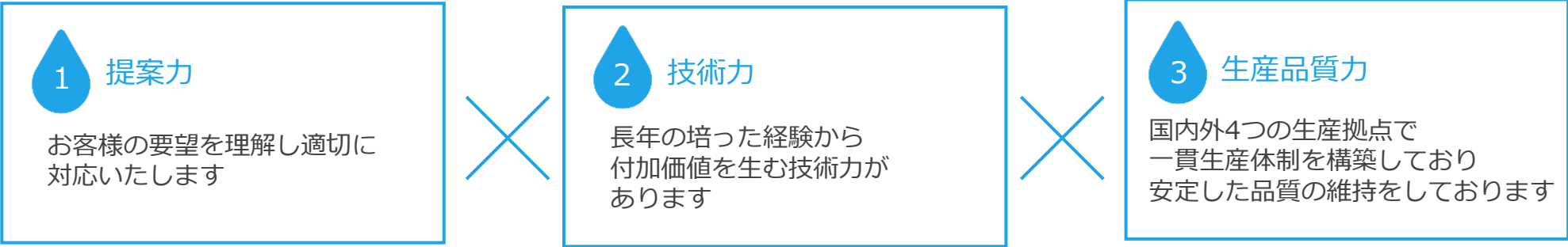


お客様目線の
商品づくり



市場シェア**19.8%**[※]
(2025年3月期、数量ベース)

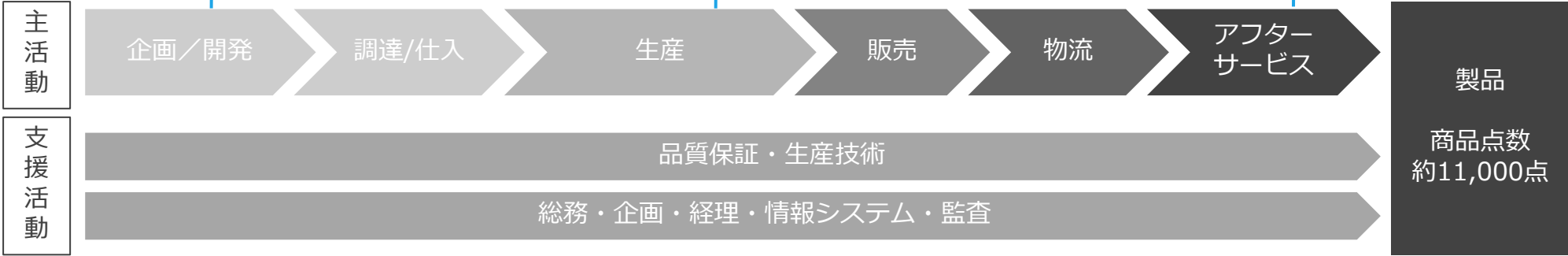
KVKは、1939年にバルブコックの製造メーカーとして創業以来、日々の生活に欠かすことができない水回りを担う水栓メーカーとして、高品質で信頼されるモノづくりを追求しております。



お客様の要望に合わせて商品やデザインなどの提案をいたします

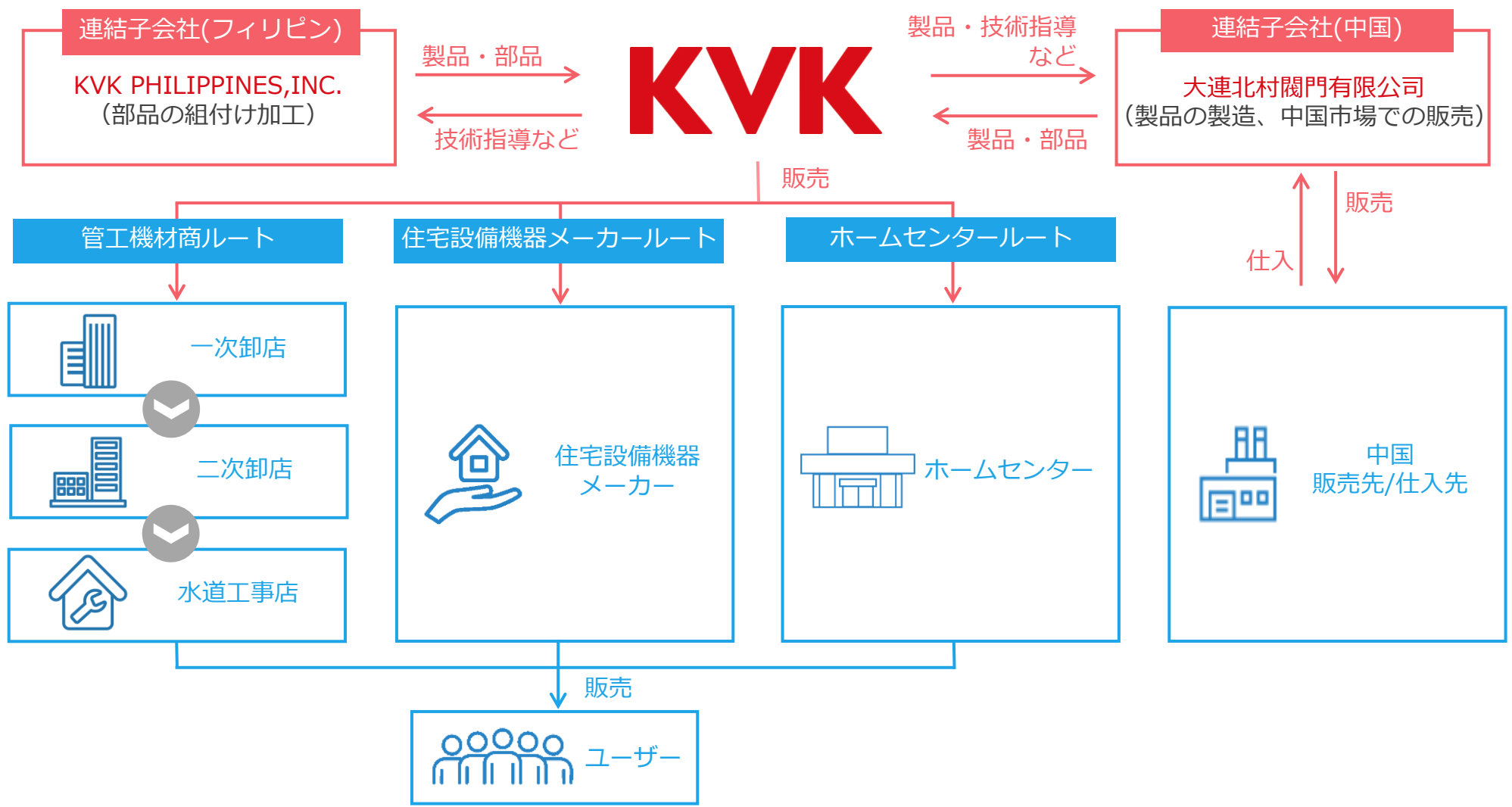
各工程全数検査しています

HPからも商品の問い合わせを承っております
→メーカー直のアフターサービス



※一般社団法人日本バルブ工業会資料より算出

KVKグループは子会社2社で構成され、水栓金具、継手、排水金具、水栓部品の開発設計・製造・販売を事業内容としております。





2025年3月期 決算概要

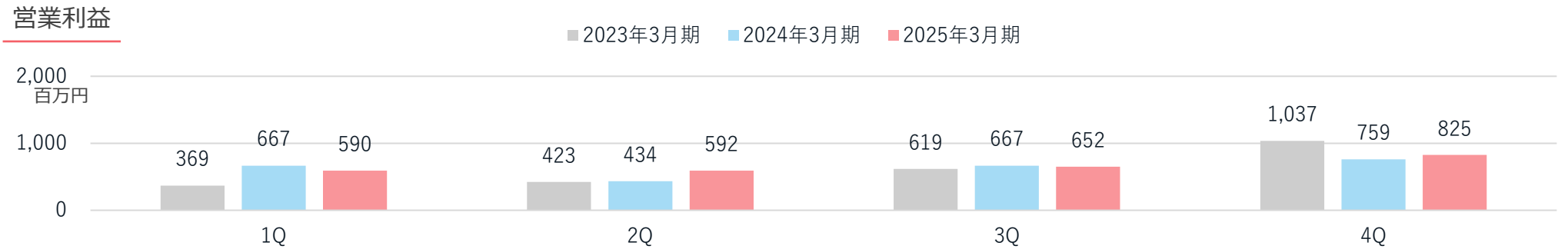
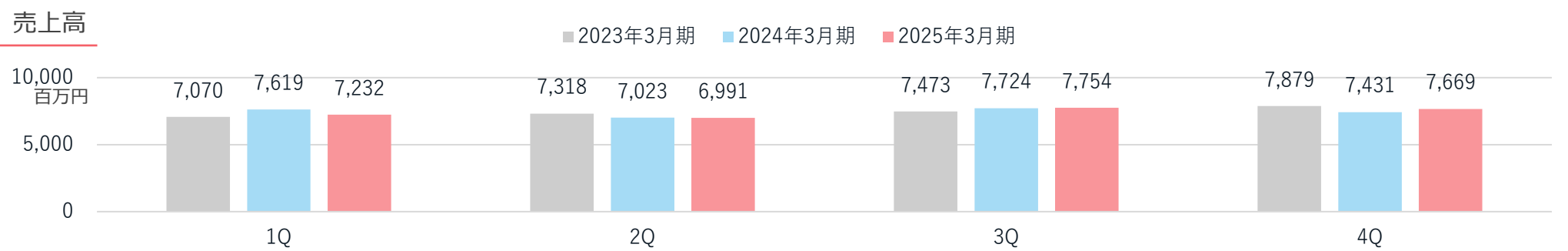
- 売上高は、住宅市場が、国内、中国ともに低調に推移するなか販売数量の減少に伴い減収。
- 営業利益は、採算性を考慮した販売品目の見直しと過去の数回にわたる商品価格改定により増益。
- 投資有価証券売却益もあり、経常利益、当期純利益も増益。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
29,648百万円	2,660百万円	3,072百万円	2,110百万円
前年同期比▲0.5%	前年同期比+5.2%	前年同期比+7.2%	前年同期比+6.6%

	2024年3月期	2025年3月期		前年同期比	業績予想比
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	業績予想	増減額 (増減率)	増減額 (増減率)
売上高	29,799	29,648	30,500	▲150 (▲0.5%)	▲851 (▲2.8%)
営業利益	2,530 (8.5%)	2,660 (9.0%)	2,600	+130 (+5.2%)	+60 (+2.3%)
経常利益	2,866 (9.6%)	3,072 (10.4%)	2,800	+205 (+7.2%)	+272 (+9.7%)
当期純利益	1,980 (6.6%)	2,110 (7.1%)	1,900	+130 (+6.6%)	+210 (+11.1%)

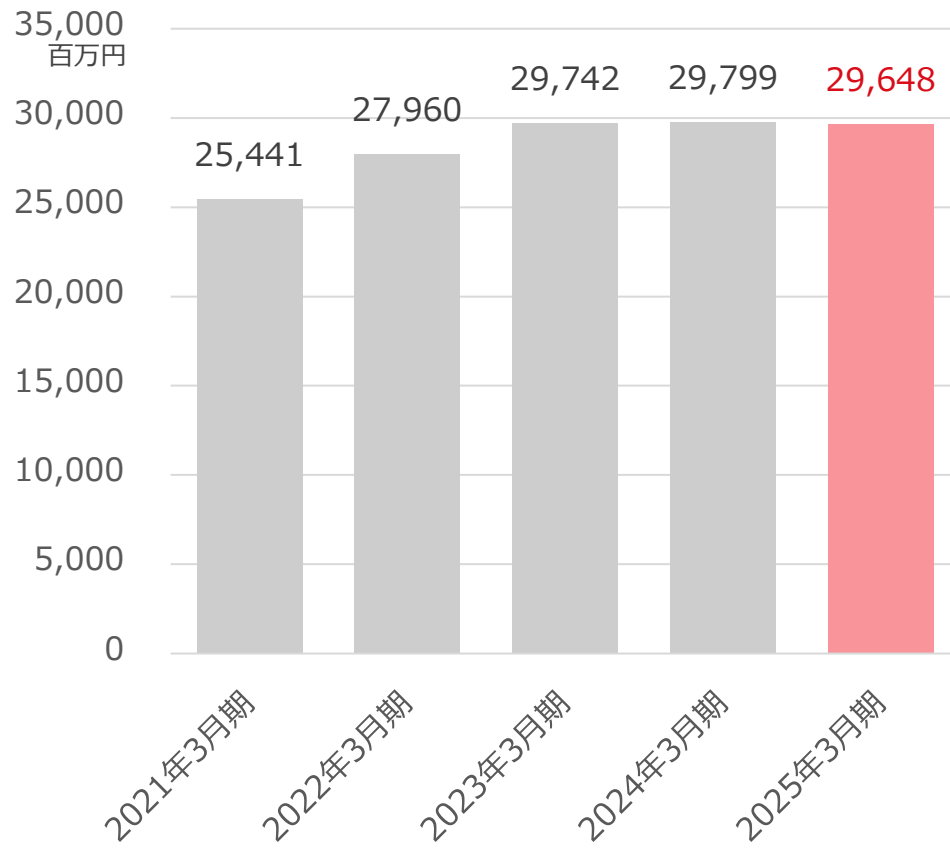
- 1 Q～2 Qは販売数量減少に伴い、前年同期と比較し減収傾向となった。
- 3 Qは販売数量減少するも、高付加価値商品の受注増により前年同期と比較し増収となった。
- 4 Qは住宅設備機器メーカーからの受注増により増収となった。

百万円	2023年3月期実績				2024年3月期実績				2025年3月期実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,070	7,318	7,473	7,879	7,619	7,023	7,724	7,431	7,232	6,991	7,754	7,669
営業利益	369	423	619	1,037	667	434	667	759	590	592	652	825
経常利益	385	457	708	1,063	674	451	763	977	602	802	707	960
当期純利益	258	308	466	739	405	303	490	781	408	535	500	665

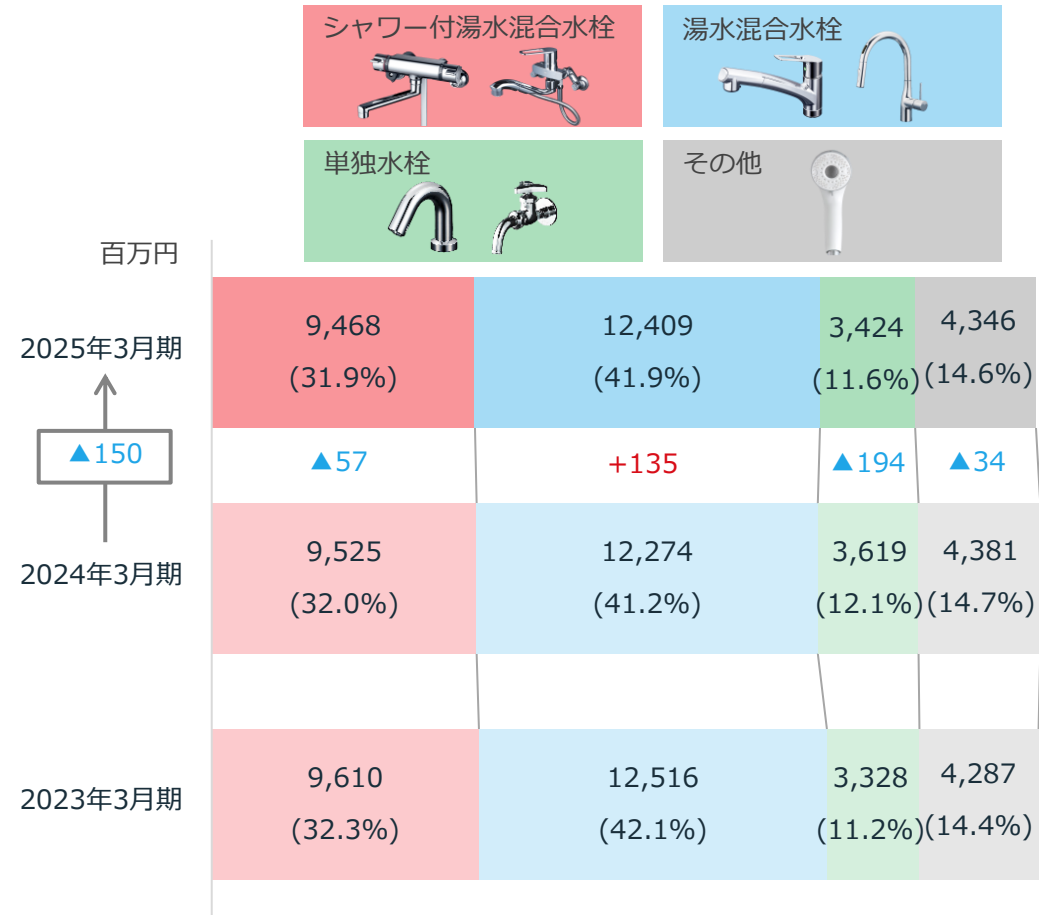


- 売上高は、前年度過去最高から減収。
- 住宅市場は、国内、中国ともに低調に推移するなか、販売数量は減少。

売上高推移

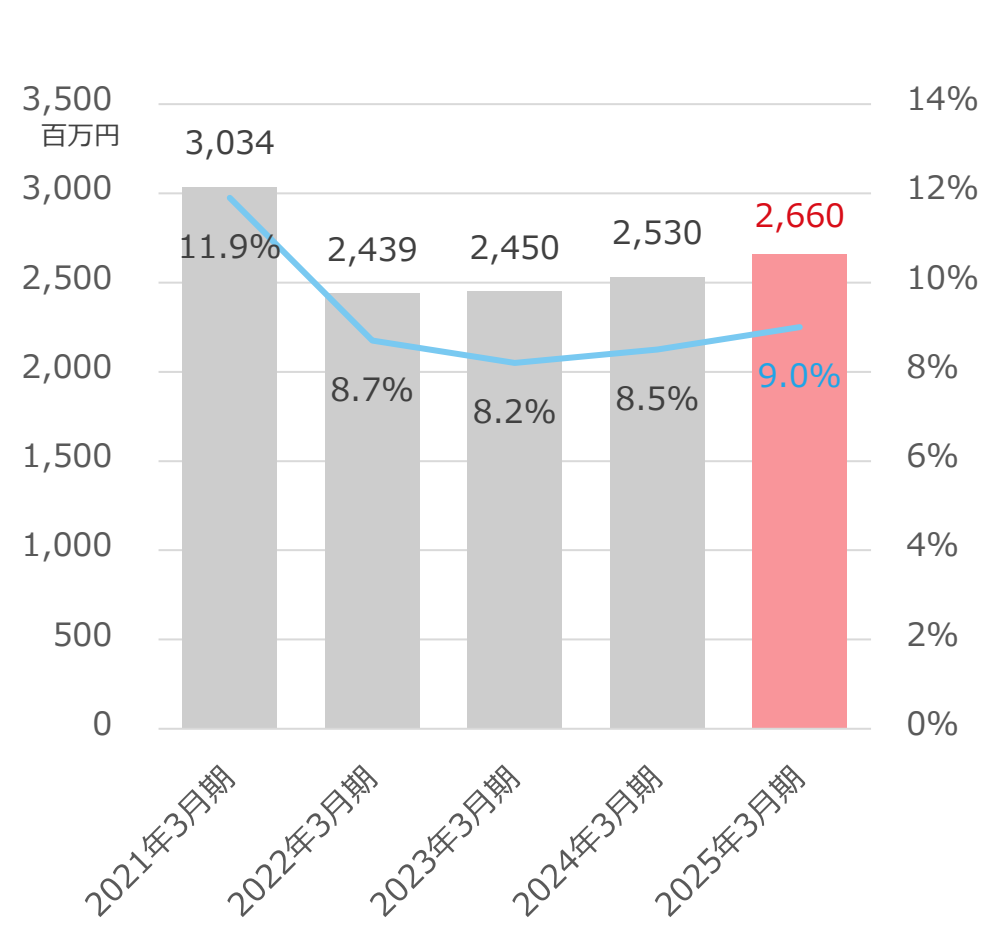


品目別売上高推移

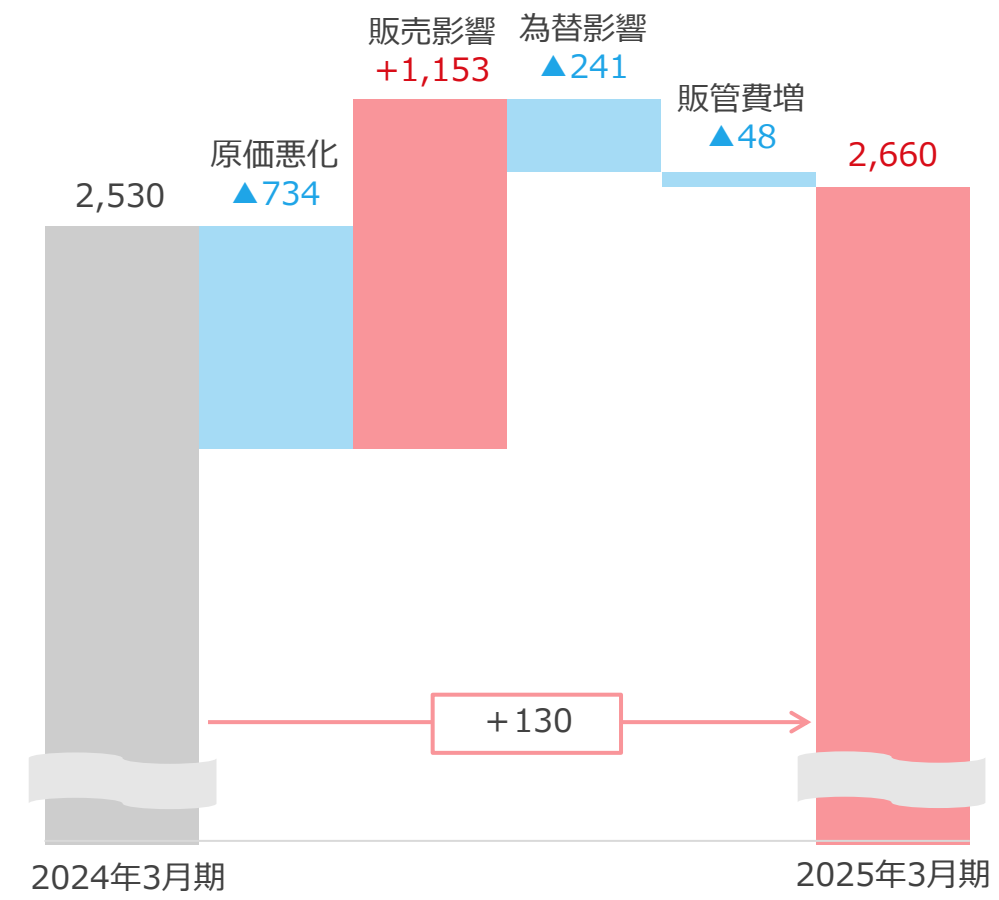


- 仕入れコスト増加の影響で原価悪化した分を販売影響（価格改定）にて補填。

営業利益・営業利益率推移



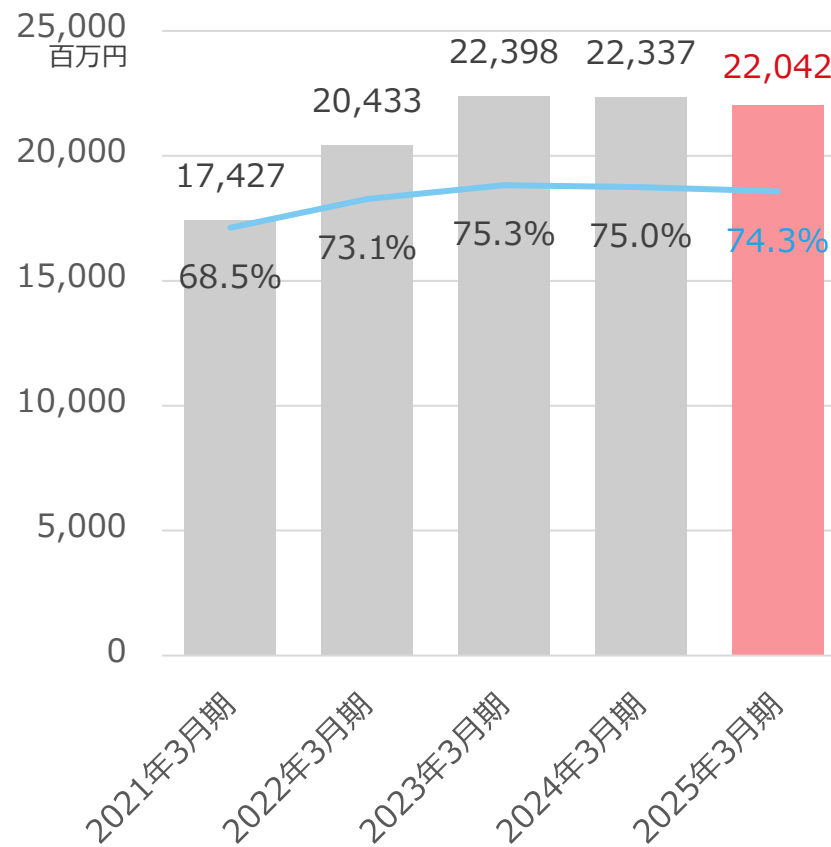
営業利益増減要因分析



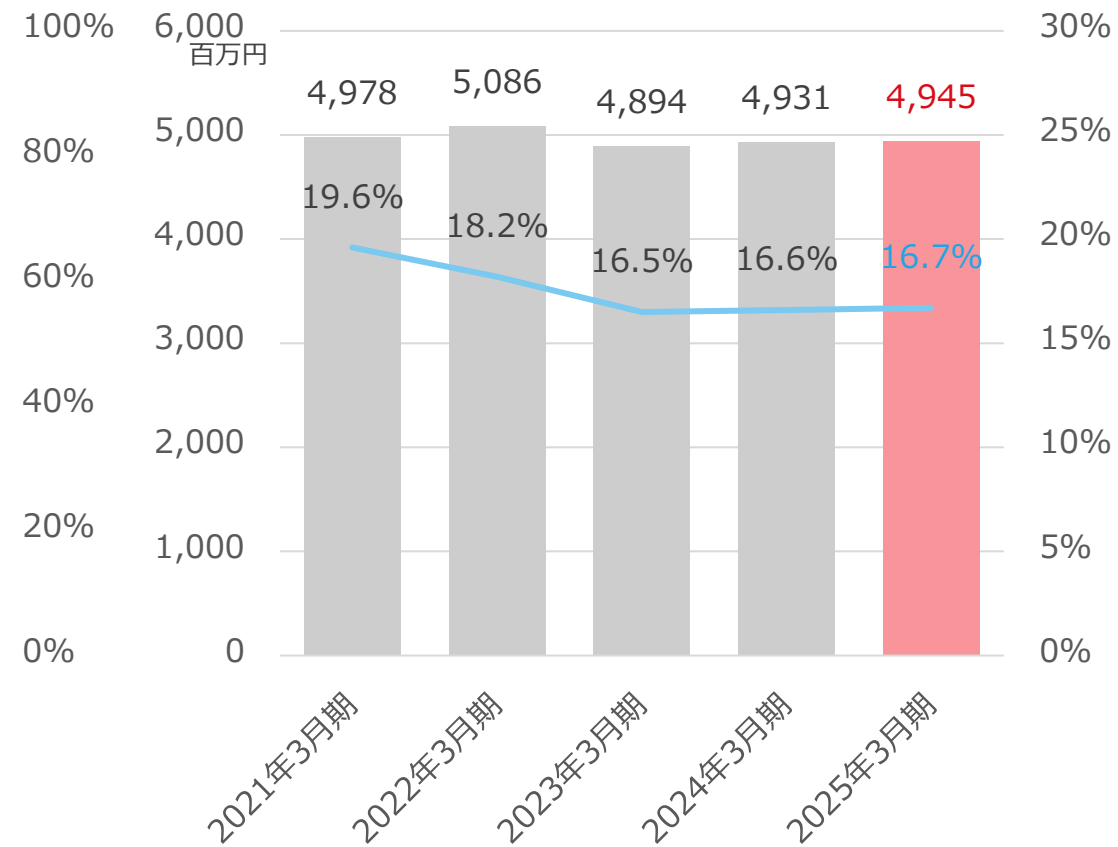
※想定為替レート 2024年3月期：19.3円/元 2025年3月期：20.4円/元

- 売上原価は売上高比75%弱程度で大きな変動は無し。
- 販管費は固定費が大半であり大きな変動は無し。

売上原価・売上原価率推移



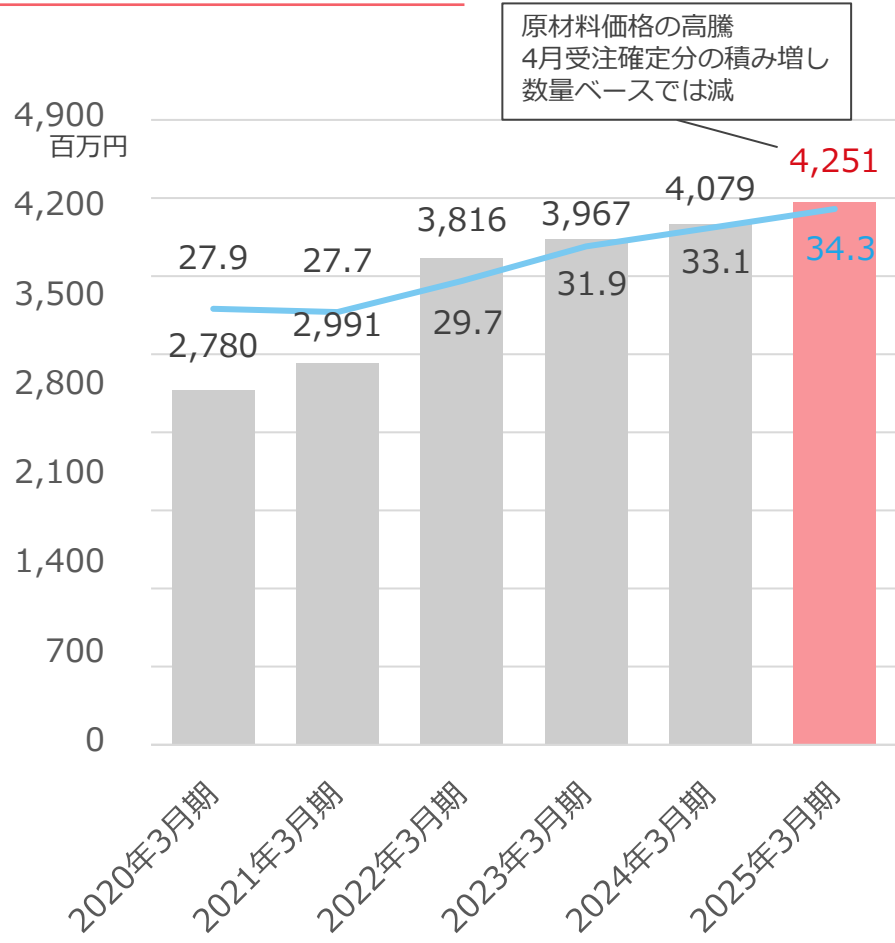
販管費・販管比率推移



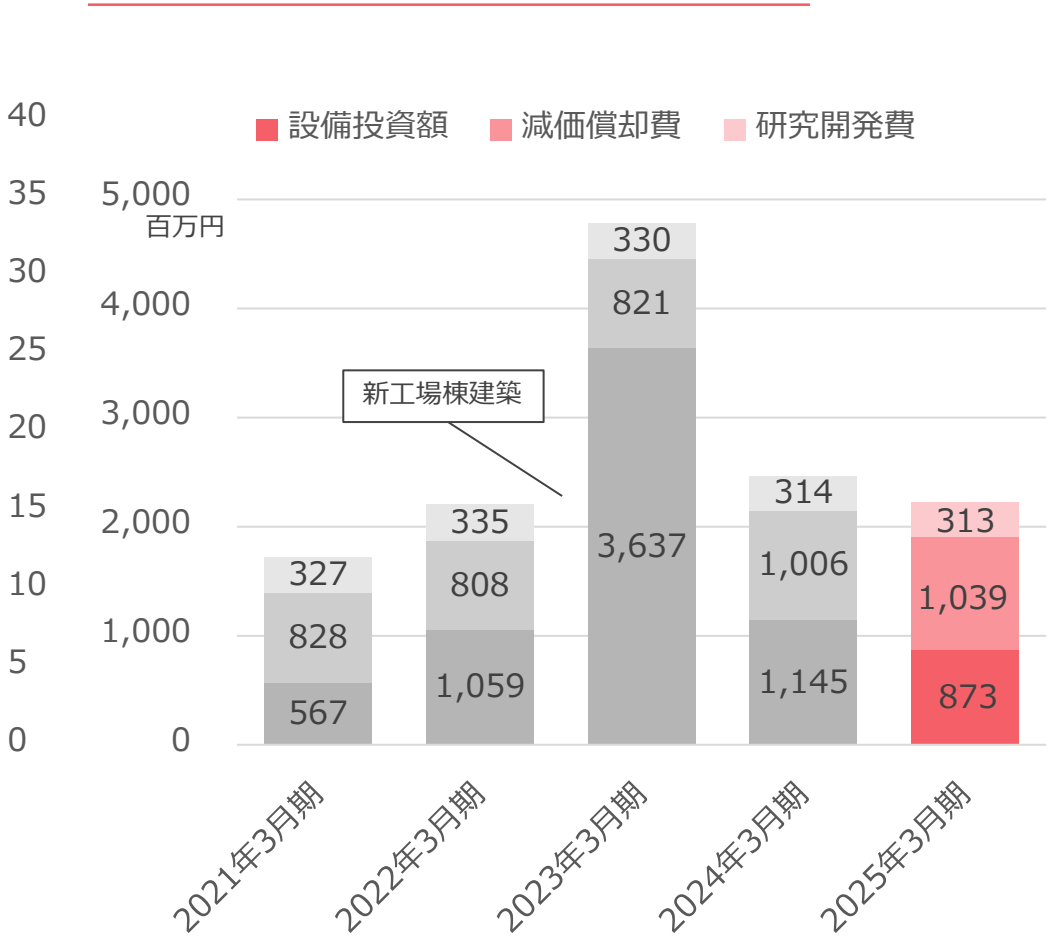
※銅価格：期首1,380円/kg、期末1,540円/kg 為替：期首21.21円/元、期末20.65円/元

- 在庫金額は4月受注確定分の在庫積み上げ分もあり、前年比+171百万円。
- 設備投資額は前年比▲272百万円、減価償却費は前年比+32百万円、研究開発費は前年比▲0百万円。

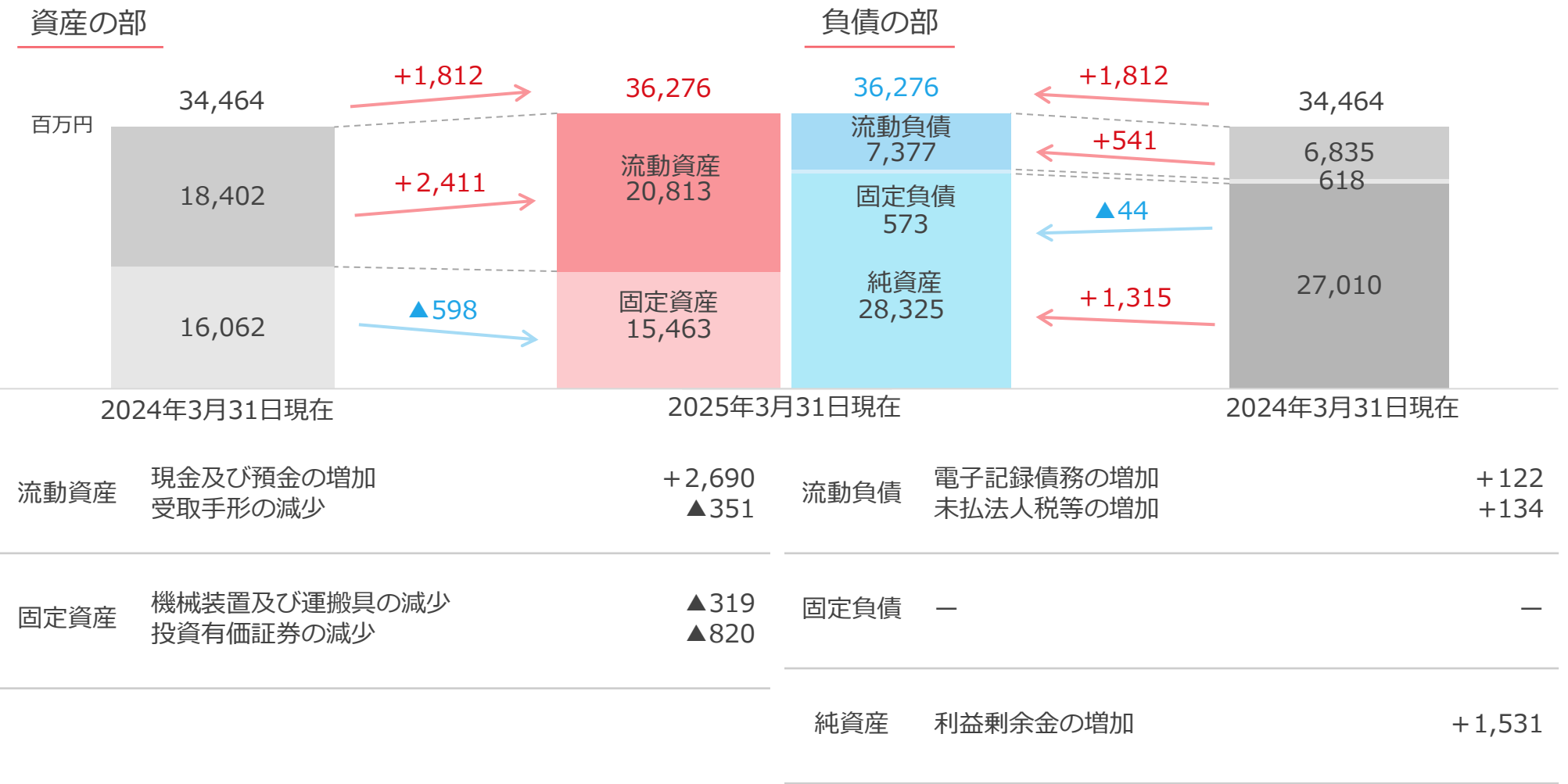
在庫金額・在庫回転日数推移



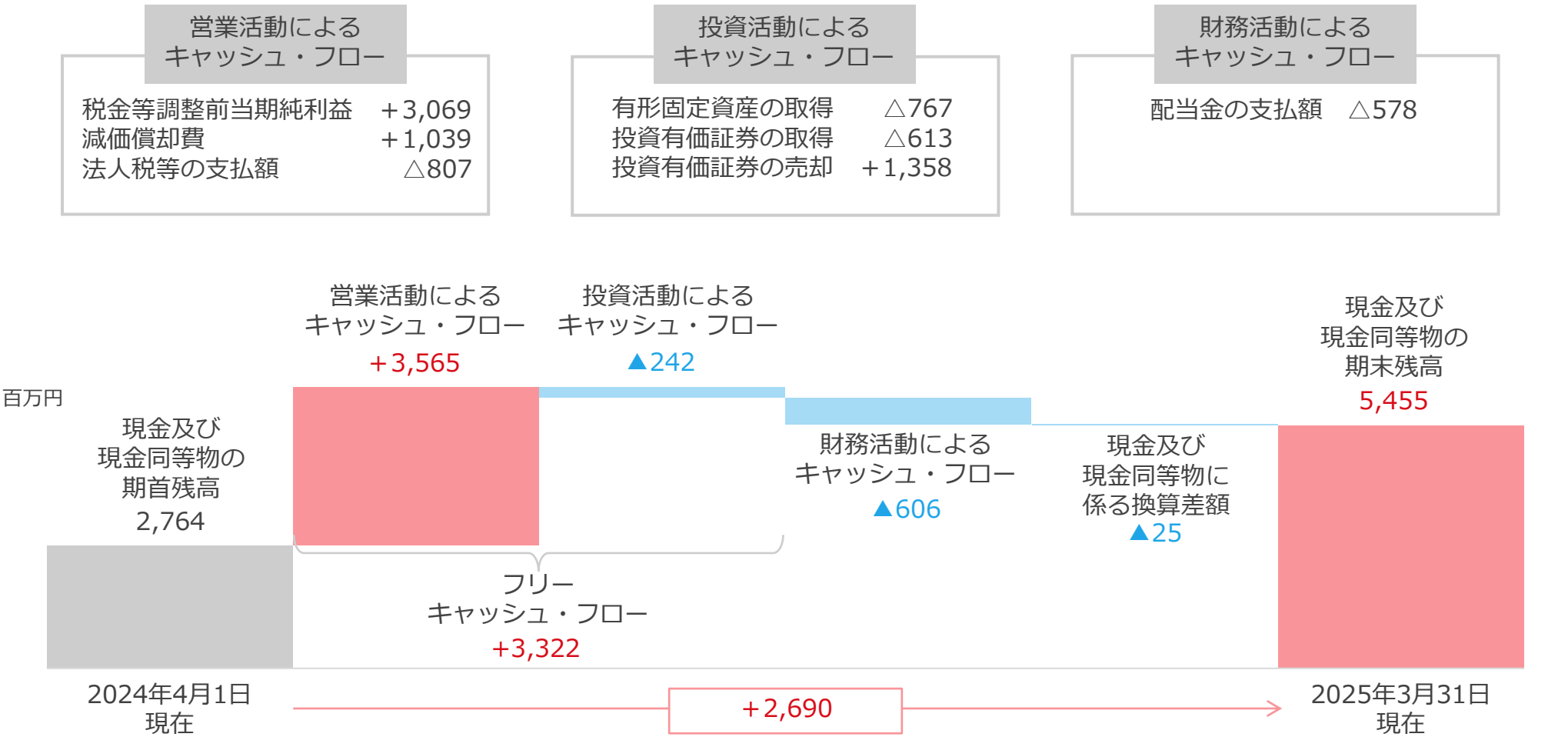
設備投資・減価償却費・研究開発費推移



- 流動比率は、前期末に比べ、12.9ポイント増加し、282.1%。
- 自己資本比率は、前期末に比べ、0.3ポイント減少し、78.1%。
- 1株当たり純資産額は、前期末に比べ、149円24銭増加し、3,537円44銭。



- 前期の新工場棟に関わる設備投資が一巡し、現金及び現金同等物の期末残高は期首に比べ2,690百万円増加。





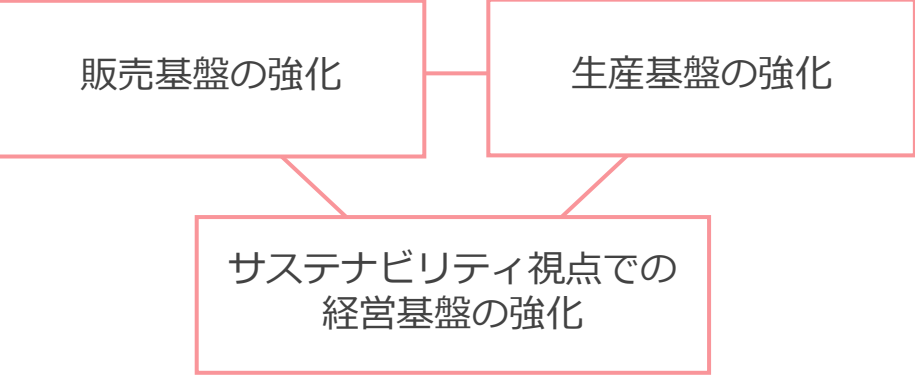
2025年3月期 振り返り

2023～2025年度 中期経営計画

KVK Innovation

水まわり商品を通して日常に彩りを加え、安らぎと団らんのある暮らしに貢献します

重点戦略



財務指標

	2023年3月期 実績	2026年3月期 当初目標	2026年3月期 目標修正
売上高	297億円	360億円	305億円
営業利益率	8.2%	10.0%	10.0%
ROE	7.4%	10.0%	10.0%

※中国の想定以上の市況低迷により
海外売上が中計策定時の見通しから大幅に減少したことから、
最終年度売上高の目標値を下方修正致します。



戦略		振り返り
販売基盤 の強化	既存商流の売上基盤の維持・強化	管工機材ルート、住宅設備機器メーカーへの高付加価値商品の提案 適正利益確保のための販売品目の見直し 2024年3月期売上高29,799百万円→2025年3月期29,648百万円（前期比0.5%減）
	市場ニーズに合った中高級品の販路拡充	撥水膜コーティングを施した水栓、カラーバリエーション、ウルトラファインバブルシャワーなど高付加価値商品のラインアップを増やし、新築ならびにリフォームの取替需要に対応
	海外市場の新規拡大および既存顧客深耕	2024年5月上海にて開催された「第29回中国国際キッチン&バス設備展覧会」に出展 中国、アジア市況低迷により海外売上高は減収
生産基盤 の強化	高効率な生産体制によるコスト競争力強化および安定供給体制の構築	本社、飛騨古川、中国大連、フィリピンによる最適地調達・最適地生産の推進 自働化の推進 新工場棟2棟の本稼働開始
	DX推進による生産性向上	自働化ライン稼働率向上に向けたデータ取りおよび解析 間接部門の社内基幹システム刷新による業務効率化と標準化の推進

戦略		振り返り
サステナビリティ 視点での 経営基盤の強化	環境配慮型商品および使いやすさを 追求した製品の開発	リサイクルを前提とした製品設計・開発 標準仕様で節湯対応 海外規格、海外環境規制に適合した商品の販売
	多様な人財が活躍するためのキャリア 形成支援の強化およびワークライ フ・バランスの向上	中途採用人数：23名 管理職研修・階層別研修の実施 エンゲージメント調査実施 育児休暇取得率 男性：36%、女性：100% 女性選抜メンバーによる定期意見交流会実施（キャリア形成支援やワークラ イフ・バランスの向上に向けて議論）
	生産活動における温室効果ガス排出 の削減および環境負荷物質・廃棄物 の削減とリサイクルの推進	コージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの稼働によりエ ネルギー使用量と二酸化炭素排出量を削減 CO2排出量：2022年度年間排出量実績ベースより11%削減
	地域社会への参画と貢献	公益財団法人KVK福祉会の運営 →地域の生活保護世帯の生徒・学生に対する奨学金、学用品の支給 地域清掃活動の実施 地域交通安全活動の実施 地域行事への協賛 ふるさと納税の運用
	透明性・健全性の高い経営体制づく りとそのチェック機能の充実	リスク管理委員会を年2回開催し、重要なリスクに関しては取締役会および 経営会議に報告し必要な協議・決議を行う

1 国際ホテルレストランショーへ出展

ホテル業界への当社商品の認知度向上を目的に、本年2月4日から7日まで東京ビッグサイトにて開催されました「第53回国際ホテル・レストランショー」に出展しました。

当社は、黒を基調にデザインされたブースに、洗面用手洗い水栓のカラーバリエーションや、浴室用オーバーヘッドシャワー水栓、撥水水栓、ウルトラファインバブルシャワー（hadamo）などを展示しました。

ホテルのインテリアにも調和し、空間を洗練された落ち着いた雰囲気演出できる事をアピールしました。



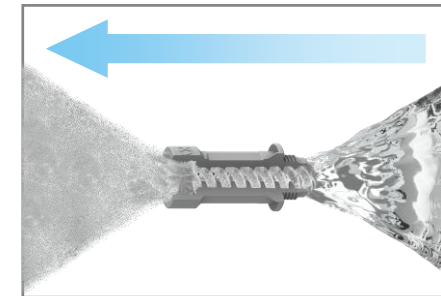
2 ウルトラファインバブル発生機能付混合栓を発売

ウルトラファインバブル発生機能を備えたキッチン用シングルシャワー付混合栓および洗面用シングル洗髪シャワー付混合栓を発売。

微細な泡が汚れの隙間に入り込み洗浄効果を高めます。



ウルトラファインバブル発生イメージ



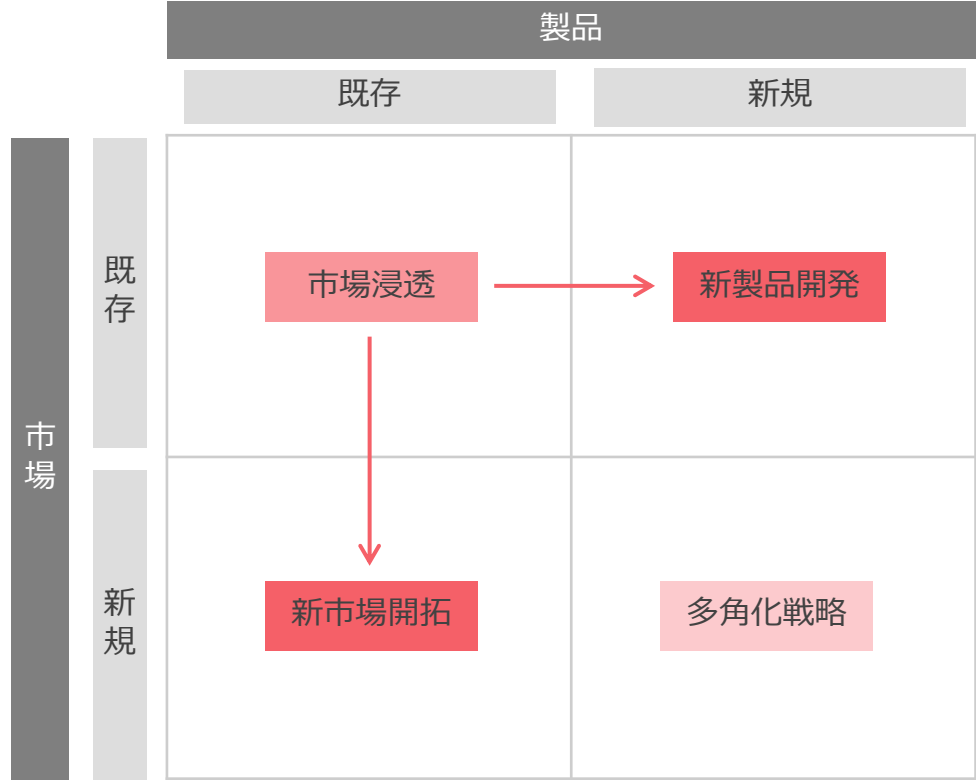


2026年3月期の取り組み および将来展望

販売基盤の強化



- ・ 全国KVK会地区大会開催による販売店との強固なパイプづくり
- ・ BtoCを意識した川上営業により顧客ニーズを吸い上げた高付加価値商品の提案
- ・ 中国、アジア市場を含めた海外市場開拓のスピードアップ



- 1 既存商流の売上基盤の維持・強化
- 1 営業エリア別の取引シェアの維持・向上
- 2 川上営業による、KVKのファンづくりの推進
- 2 市場ニーズに合った中高級品の販路拡充
- 3 海外市場の新規拡大および既存顧客深耕
- 1 既存顧客深耕と新規取引の開拓による海外売上拡大
- 2 海外営業体制構築に向けた取り組み

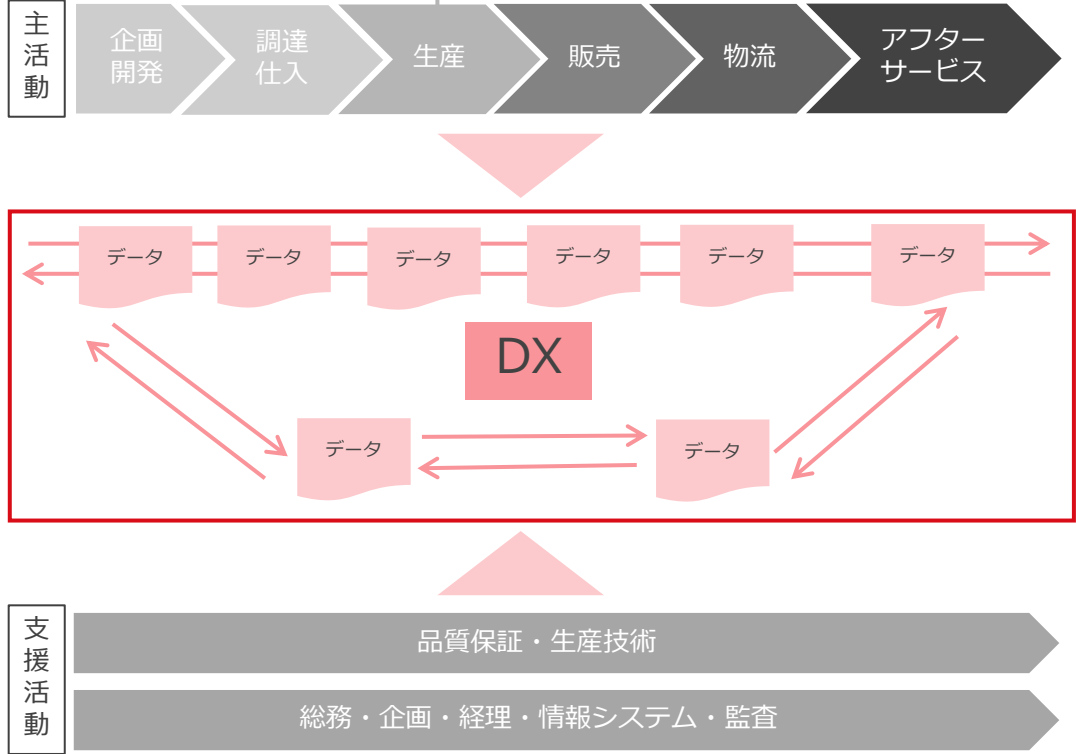


生産基盤の強化



KPS（KVK Production System）活動の推進
（多品種少量に迅速・柔軟に対応でき、利益を生む生産体制の確立）

生産拠点：本社・飛騨古川・中国大連・フィリピン



- 1 高効率な生産体制によるコスト競争力強化
および安定供給体制の構築
- 1 変種減量に迅速・柔軟に対応でき、利益を生む生産体制の確立
- 2 自動化推進による生産性向上
- 3 調達先の見直しによる為替リスクやサプライチェーンリスク対策
- 2 DX推進による生産性向上
- 1 デジタル技術およびデータ活用による業務の効率化

サステナビリティ視点での経営基盤の強化



- 1 環境配慮型商品および使いやすさを追求した製品の開発
- 1 リサイクルを前提（分解可能な構造）とした製品設計・開発
- 2 JIS規定された節湯水栓（エコ商品）の展開
- 3 海外規格、海外環境規制に適合した商品の販売
- 2 多様な人材が活躍するためのキャリア形成支援の強化
およびワークライフ・バランスの向上
- 1 次世代リーダーの育成
- 2 中核人材の安定的な確保
- 3 従業員エンゲージメント向上への取り組み
- 4 男性の育児休暇取得率向上
- 5 多様な働き方の選択肢
- 3 生産活動における温室効果ガス排出の削減
および環境負荷物質・廃棄物の削減とリサイクルの推進
- 1 コージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネル
によるエネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減

サステナビリティ視点での経営基盤の強化



4 地域社会への参画と貢献

- 1 公益財団法人KVK福祉会の運営
- 2 地域清掃活動の実施
- 3 地域交通安全活動の実施
- 4 地域行事への協賛
- 5 ふるさと納税の運用



5 透明性・健全性の高い経営体制づくりとそのチェック機能の充実

- 1 リスク管理体制の強化
- 2 コーポレート・ガバナンスの強化

- 高付加価値商品の販売を伸ばして増収、営業増益を見込むが、為替変動リスクなどもあり、経常利益、当期純利益は減益を見込む。

百万円	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		業績予想比			
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期		通期	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	14,224	29,648	15,000	30,500	+ 775	+ 5.5%	+ 851	+ 2.9%
営業利益	1,183	2,660	1,300	2,700	+116	+ 9.9%	+ 39	+ 1.5%
経常利益	1,405	3,072	1,350	2,800	▲55	▲ 3.9%	▲272	▲ 8.9%
当期純利益	944	2,110	900	1,900	▲44	▲ 4.7%	▲210	▲10.0%



KVKブランド価値を高め、世界中の人々から必要とされる 水まわりのリーディングカンパニーを目指します



- すべての人にとって使いやすく、
永く安全に使える製品、
サービスを提供し、
高いお客様満足度を実現します



- 温室効果ガスの排出量削減
および環境負荷物質・
産業廃棄物の削減を進め、
高効率な生産体制により
地球環境を守ります



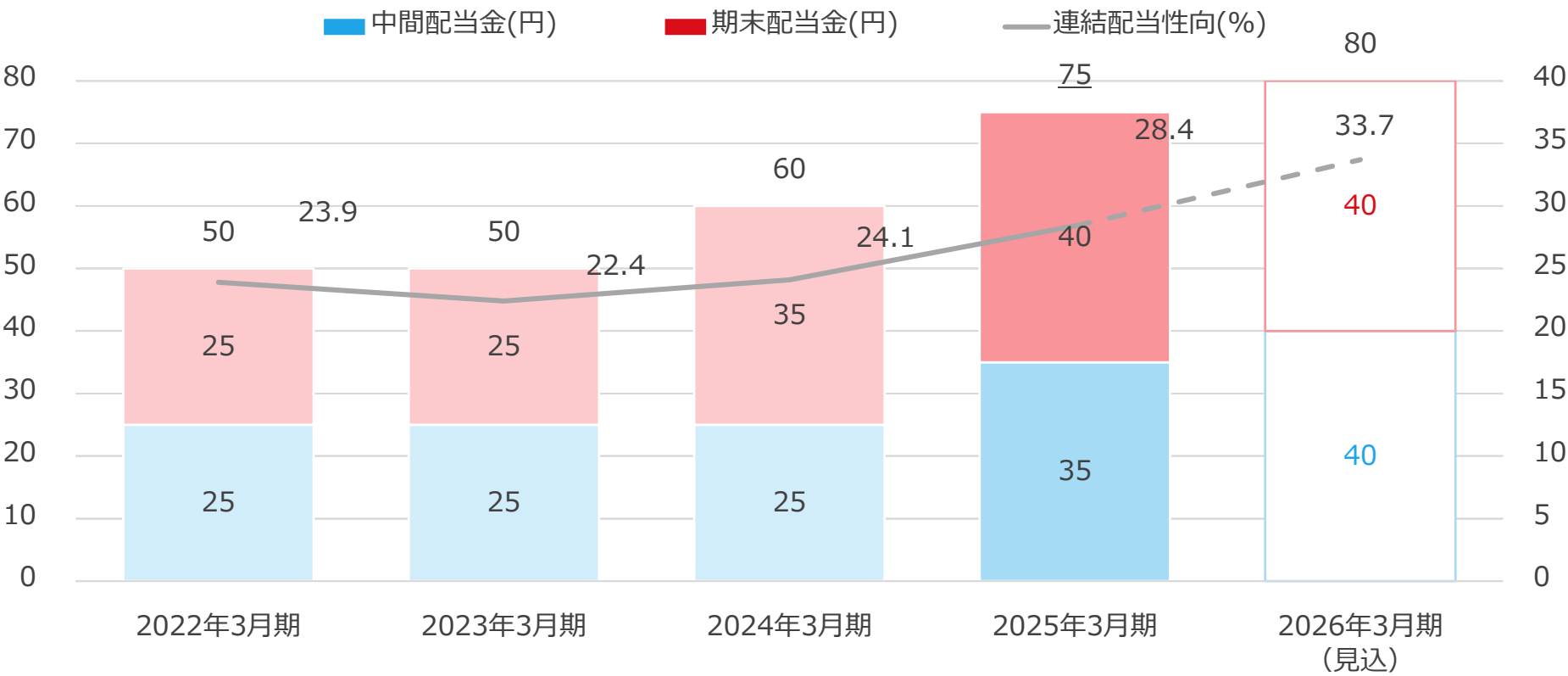
- 「人間尊重」を基本に、
自ら学び、考え、行動し
新たな価値を創造できる
人財育成体制を構築します



- ステークホルダーに信頼される
ガバナンス体制を確立します
- Vision2030の実現と共に
連結数値目標を達成します



- 期末配当は、普通配当を5円増配の1株当たり40円とし、中間配当35円と合わせて年間で75円とする。
- 次期の配当に関しましては、中間配当40円、期末配当40円の年間80円に増配予定。



※2024年3月期はKVK創業85周年記念配当5円を含みます。

株主優待

所有株式数 **100株以上**

- 当社製品を優待価格でご提供

所有株式数 **500株以上**

- 当社製品を優待価格でご提供
- +
- 3,000円相当の入浴用品



2025年度優待価格対象製品

ウルトラファインバブルシャワーヘッド
G Shower



hadamo



サーモスタット式シャワー
(eシャワーNf 撥水膜コーティング)



シングルシャワー付混合栓
(センサー付 撥水膜コーティング)



IR活動 *New*

三井住友信託銀行様提供アプリ「株主パスポート」の導入
(株主様がスマートフォンにて以下のサービスが受けられる)

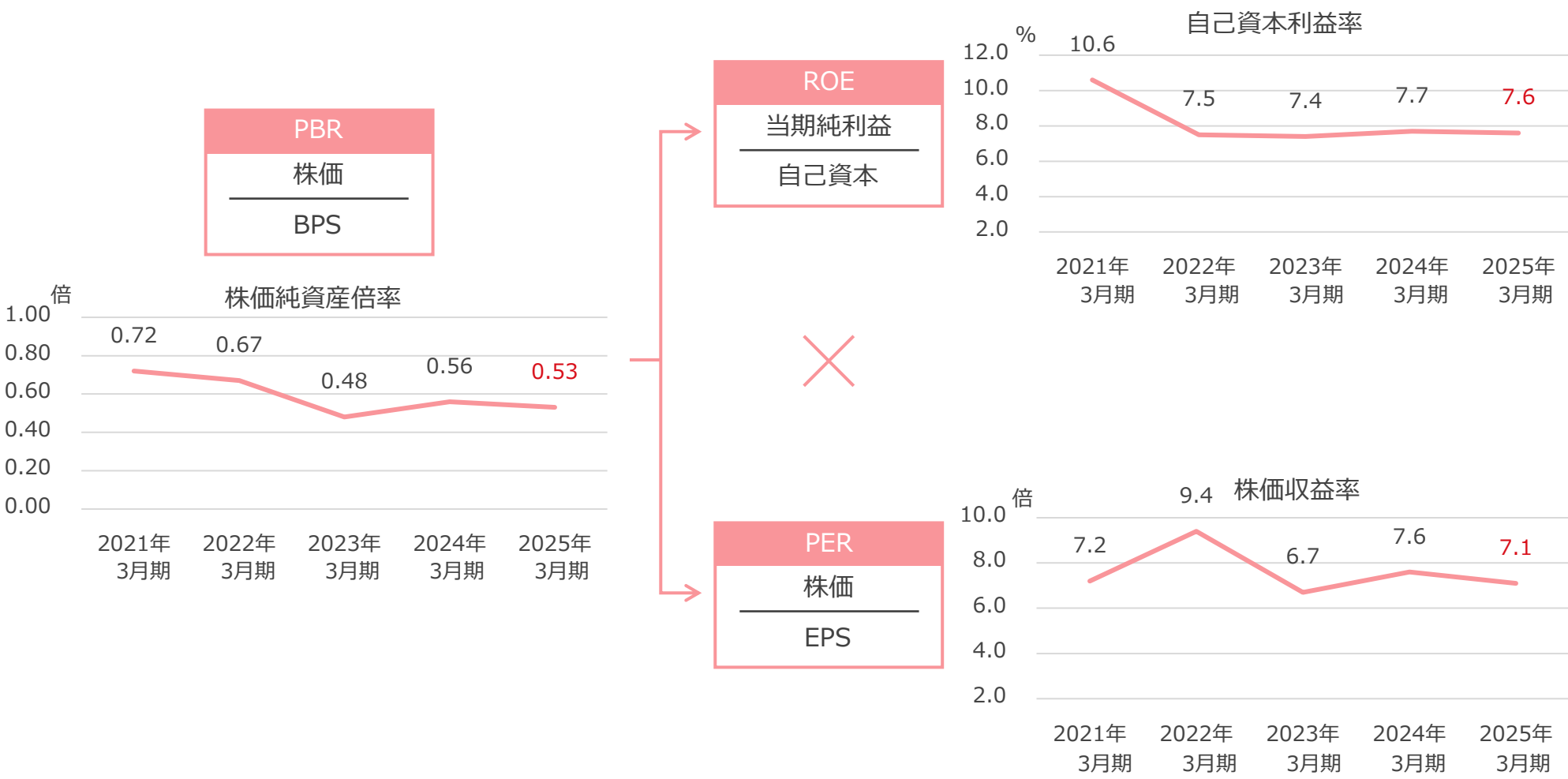
- 株主総会、配当金、株主優待などの最新情報の確認
- 議決権の行使



5

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について

- 前年度と比較しPBR、ROE、PER共に減少。ROEは、当期純利益が前年同期比増加したが、自己資本が増加したこともあり0.1ポイント減少。
- PBRは一倍を下回る状況が継続しており、ROE、PERを改善しPBRの向上に努めて参ります。



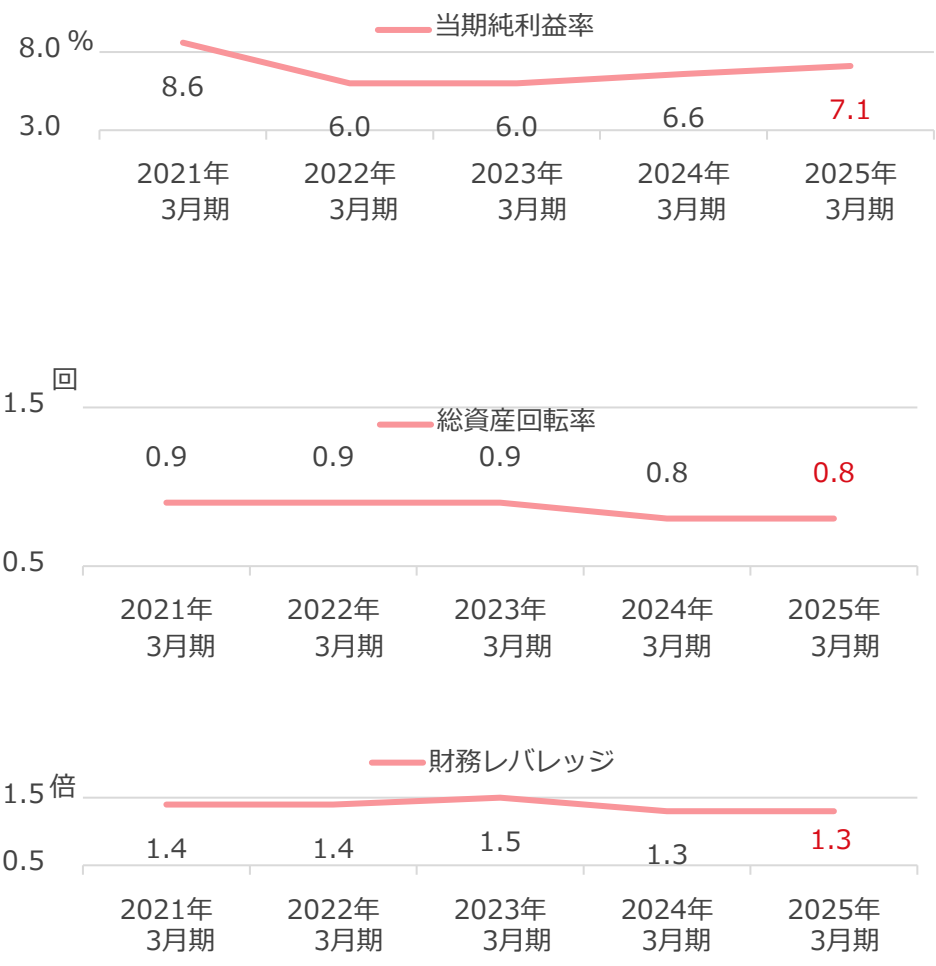
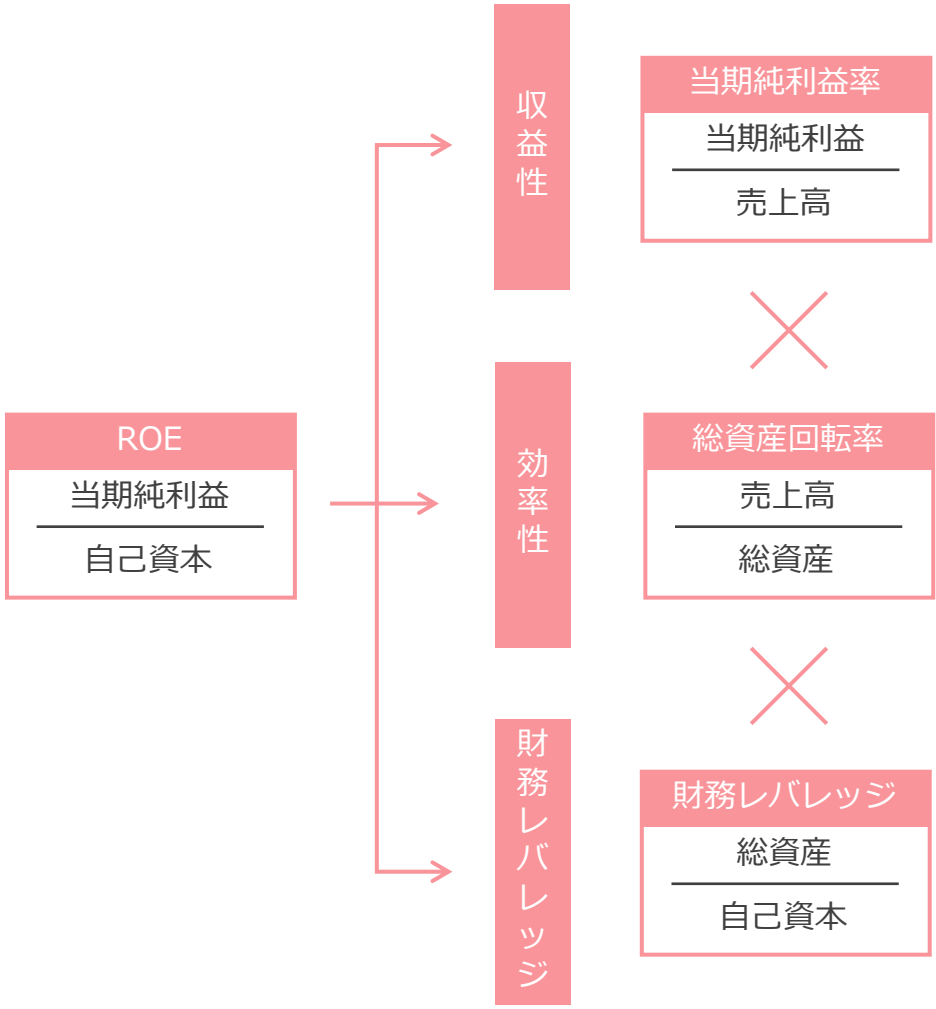
PER

株価

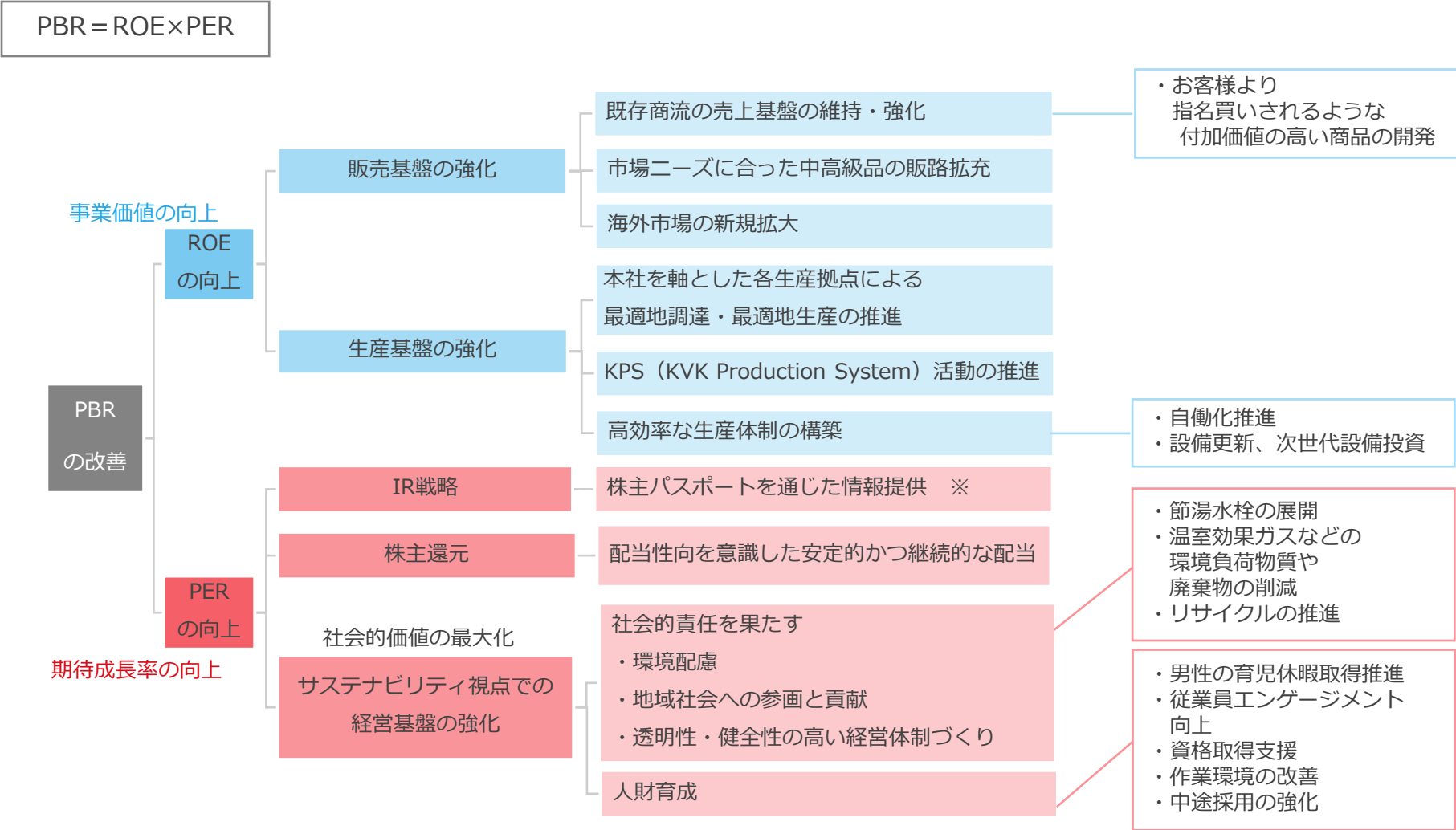
EPS

株価収益率

- 収益性は前年度比0.5ポイント増加、効率性、財務レバレッジは横ばい状態。
- 引き続き収益性の改善および在庫適正化に取り組む。
- 配当性向を意識した株主還元に取り組む。



- 事業価値と社会的価値を同時に実現すべく、中期経営計画に従って施策を実行することにより、ROE、PERを改善しPBRの向上に努めて参ります。

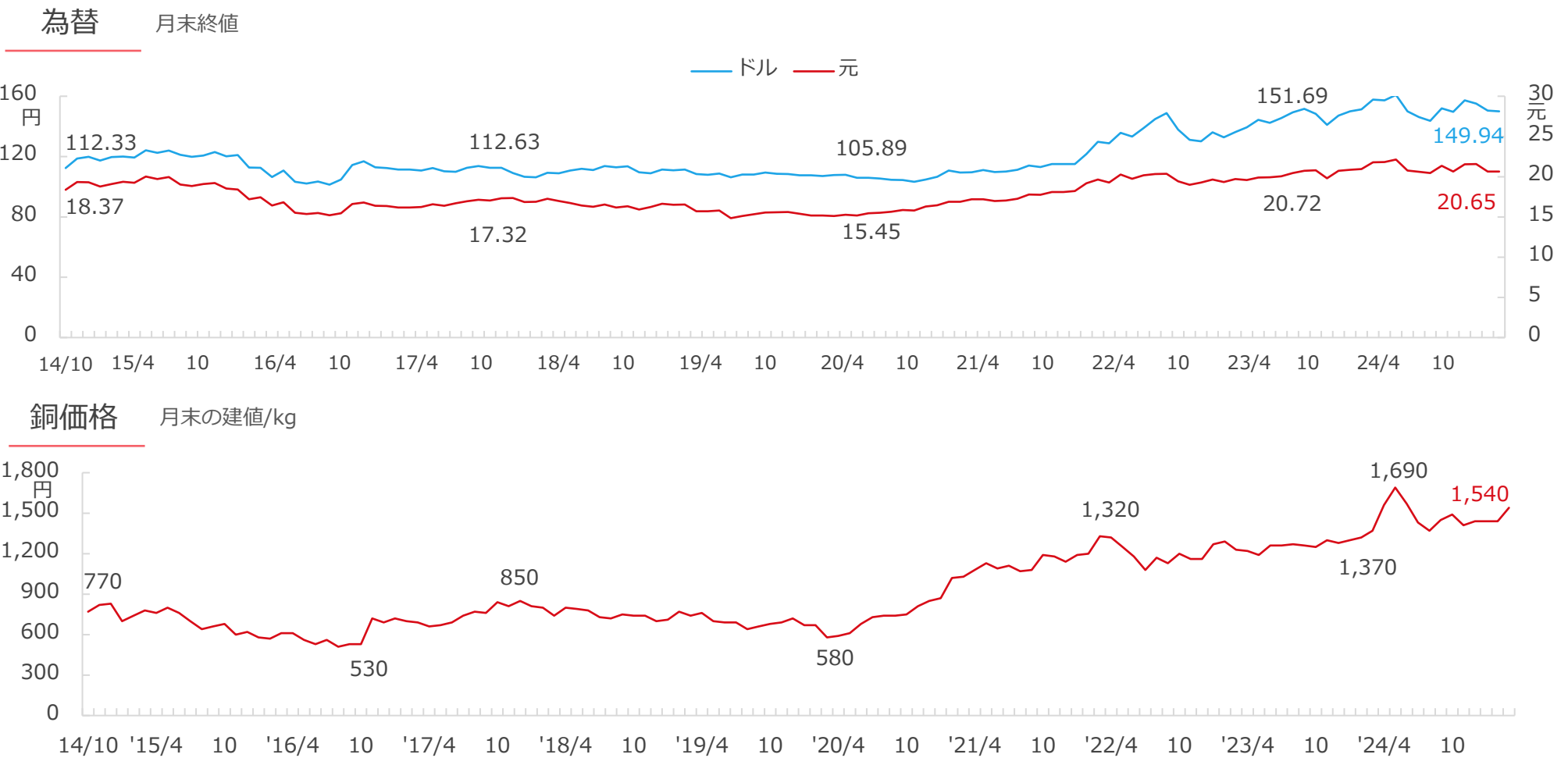


※ 株主パスポート
三井住友信託銀行様提供アプリで、株主様がスマートフォンにて株主総会や配当金などの最新情報を確認し、議決権を行使できるサービス

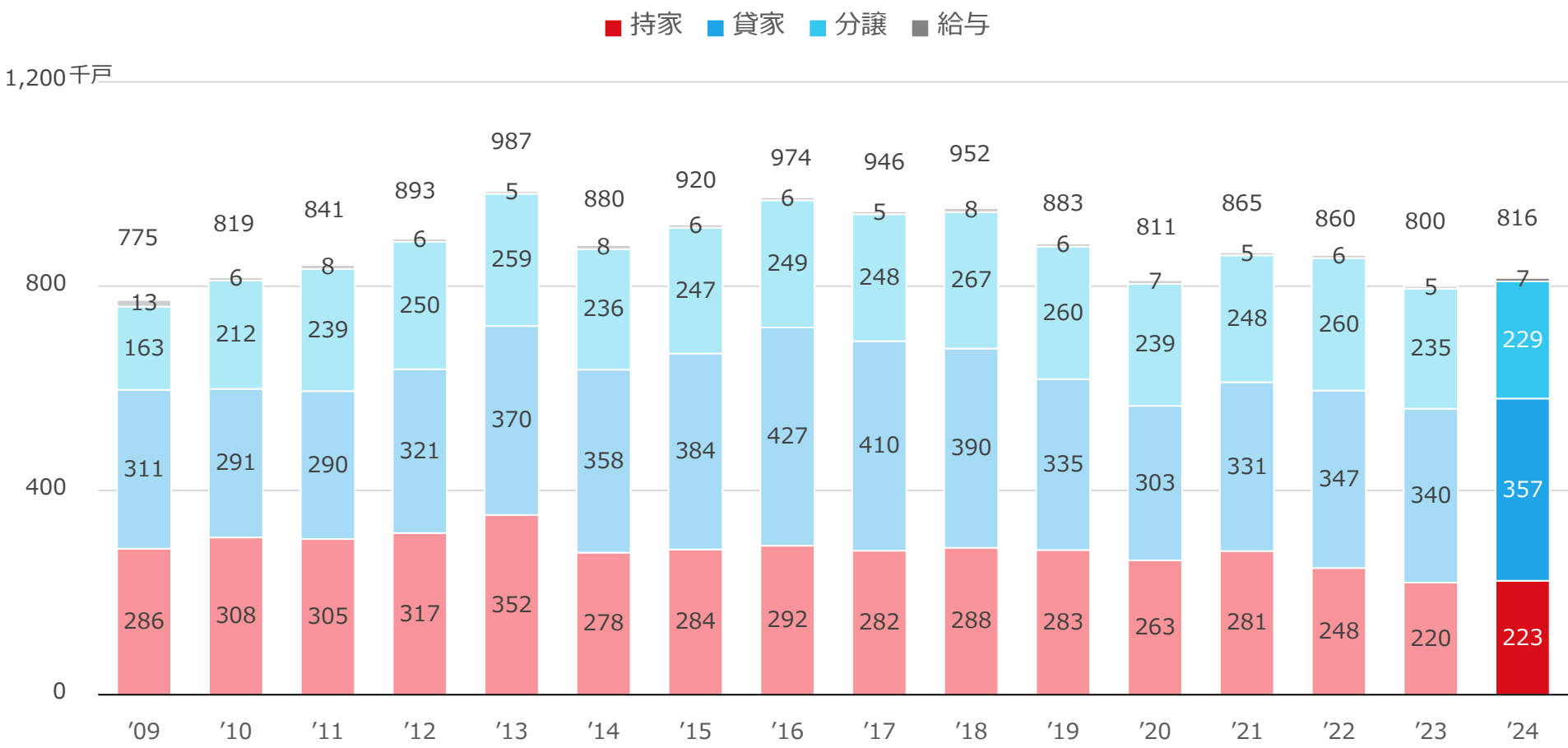


参考資料

- 為替は円安局面維持。
- 2024年度銅価格は、期首1,300円/kg代後半から期末1,500円/kg代前半へ上昇傾向で推移。

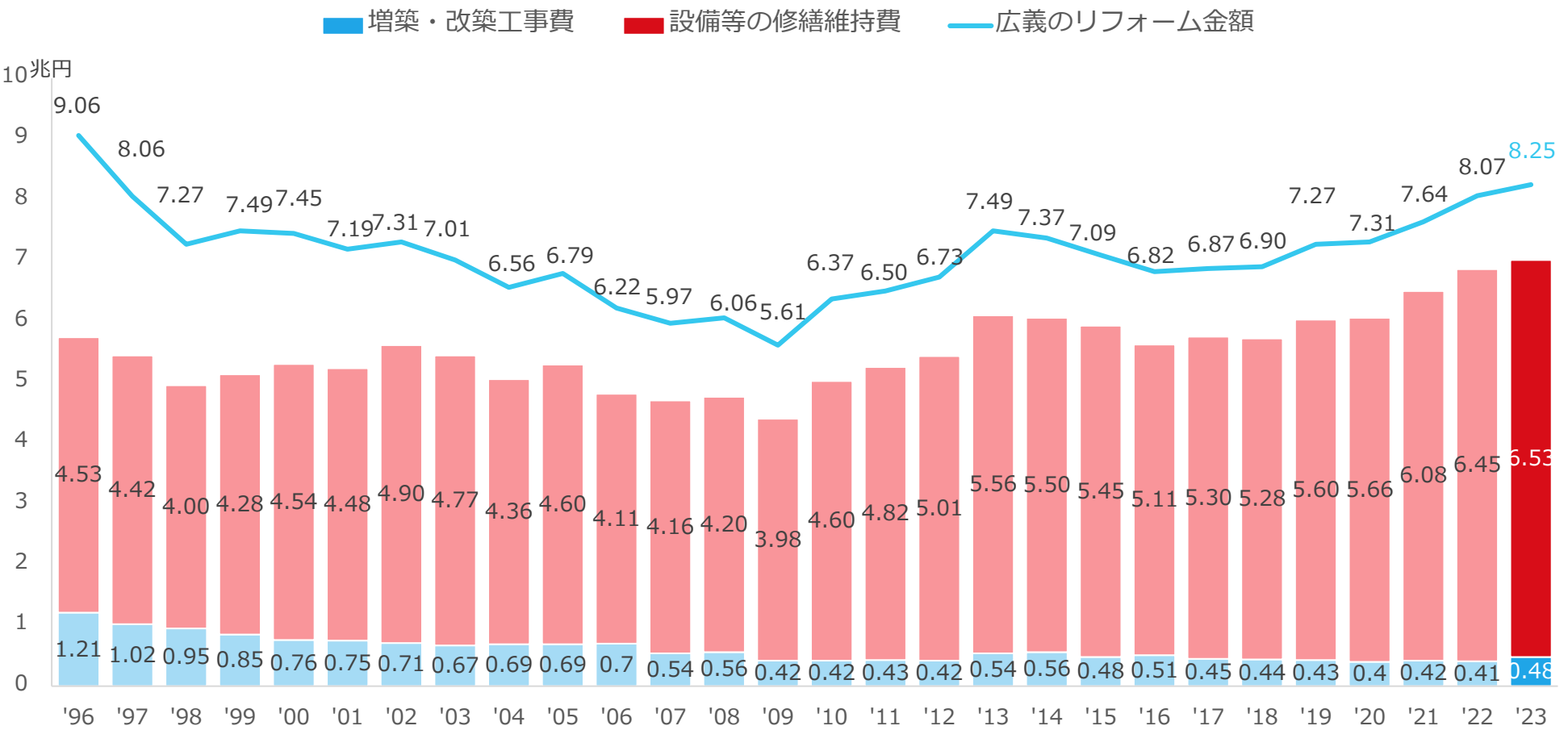


- 2024年度新設住宅着工戸数は、前年度比2.0%増の81万6千戸。
- 4月以降に建てる新築住宅に省エネ基準への適合が義務化されたことなどを背景に、3月に着工を前倒しする動きが見られた。



資料：国土交通省

- リフォーム市場は、堅調に推移。



資料：国土交通省、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター



Creating Value With You

お客様とともに“快適な水まわり”を創造する

KVK

免責事項

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。